

城陽市次世代育成支援推進事業行動計画

じょうよう冒険ランドプラン(後期)

《平成24年度の取組状況》

平成25年2月

城陽市 子育て支援課

その1 元気家族づくりを応援するために

1 多様な保育サービスの提供		事業の内容	24年度の実施状況	担当課
(1)保育所等の充実	施設の適正配置と効率的な運営	老朽化した保育所の整備とともに少子化に伴う運営の効率化を図るため、公立保育所の統合・新築及び民営化を進めます。	寺田西・枇杷庄統合保育園の平成25年度の開設に向けて建設工事を行った。また、運営を委託する指定管理者を公募し、城陽学園を選定した。	子育て支援課
	保育時間の拡大	保護者の就業形態の多様化や通勤時間の増大により、高まる保育時間に対するニーズにこたえるべく、通常の保育時間を超えた延長保育等を実施します。	市内保育所6か所において、午後7時までの延長保育を実施するほか、午後8時までを1ヶ所、午後10時までを1ヶ所で行っている。	子育て支援課
	保育内容の充実	園児や保護者が小学生や青少年、高齢者など様々な世代と交流できるよう、日頃の保育内容や行事内容の工夫に努め、地域に開かれた保育の実現を図ります。また、職員の研修機会の充実を図ります。	老人福祉センター陽和苑及び陽幸苑の高齢者との交流事業を実施した。職員の研修機会の充実に努めた。	子育て支援課
	昼間里親制度の充実	保育士等の資格を持つ者が、0～3歳児を家庭的な雰囲気の中、自宅で保育を行います。	昼間里親5人体制で、延べ114人の保育を行った。	子育て支援課
	各保育所の連携	市内の私立保育所に対する支援の充実を図るとともに、情報交換などの連携に努めます。	私立保育所の運営に対して民間保育所運営費補助制度により支援を行った。補助額215,641千円	子育て支援課
	認定子ども園への対応	国の制度について、状況把握に努めるとともに、必要な対策を行います。	認定子ども園の動向について、情報把握に努めた。	子育て支援課
	(2)幼稚園の充実	教育環境の充実	市立幼稚園においては、より快適で安全な教育環境の実現のため、設備等の定期的な点検と整備充実に努めます。	日常の施設の維持管理・補修を適切に行うため、直接施工により施設の補修・改善を実施した。
預り保育の充実		保護者のニーズの動向を踏まえながら、幼稚園の教育時間を超えた「預かり保育」の実施をします。	市立幼稚園の預かり保育については、週4日を継続して実施している。	学校教育課
教育内容の充実		園児や保護者が小学生や青少年、高齢者など様々な世代と交流できるよう、日頃の保育内容や行事内容の工夫に努め、地域に開かれた保育の実現を図ります。また、職員の研修機会の充実を図ります。	富野小学校と幼小連携を行ったり、市の市民音楽祭に参加したりした。また、職員の研修会を実施した。	学校教育課
各幼稚園の連携		市内の私立幼稚園に対する支援の充実を図るとともに、情報交換などの連携に努めます。	私立幼稚園就園奨励費補助金8632万5200円を補助し、私立幼稚園児の保護者負担の軽減を図った。	学校教育課
(3)一時預かり型保育の充実	一時保育事業の拡大	保護者が一時的・緊急的に保育できなくなった場合に未就園児童を預かる制度である一時保育事業の利用の拡大を図ります。	私立保育園3園で実施。(延べ利用人数)22年度2,237人、23年度2,664人、24年度2,669人	子育て支援課
	病後児保育の充実	病気の回復期等にあつて、集団保育が困難な保育所・幼稚園在籍児童を、保護者の勤務の都合等により家庭で育児ができない場合に、病院等の専用スペース等において保育、看護を行う病後児保育を充実する。	京都きづ川病院内病後児保育センターで実施。(延べ利用人数)22年度12人、23年度17人、24年度5人	子育て支援課
	子育て短期支援事業への取り組み	保護者の疾病、疲労その他の理由により、家庭において児童を養育することが一時的に困難となった場合、7日以内の短期間の養育を行う子育て短期支援事業(ショートステイ事業)を実施しています。	ショートステイ事業は府内2ヶ所で行っている。(延べ利用人数)22年度12人、23年度7人、24年度0人	子育て支援課

2 学童保育の充実		事業の内容	24年度の実施状況	担当課
(1)施設・設備の充実	快適で安全な施設・設備環境の確保	学童の健全な育成を図ることができる良好な保育環境を確保するため、計画的に施設の改修を図ります。また、入所児童数が過密な施設の整備検討を進めます。	過密となっている学童保育所の整備を検討した。計画的な施設の改修を検討した。	子育て支援課
(2)事業の充実	保育内容の充実	高齢者など他世代との交流活動機会の充実に努めます。学童保育指導員の資質の向上を図るため、研修機会の充実を図ります。対象学年の拡大については、今後の取り組み課題とします。	学童指導員の研修は、おおむね毎月1回実施している。高齢者などとの交流活動、対象学年の拡大については、今後の検討課題。	子育て支援課

3 うるおいのある家族生活支援		事業の内容	24年度の取組状況	担当課
(1) 多様な働き方の実現	ゆとりある就労環境整備に向けた啓発	男女が共に仕事と家庭などとの両立が可能な環境が整備されるよう、事業者及び市民に育児・介護休業法などの情報を提供し、その普及啓発に努める。	育児・介護休業法について、パンフレット設置により普及啓発に努めた。	商工観光課
(2) ひとり親家庭への支援	相談体制の充実	情報不足や孤立化などによるストレスから、ひとり親家庭における児童虐待や非行等を未然に防ぎ、安心して生活が送れるよう、福祉施策等に関する情報提供の充実と相談窓口の充実に努めます。	引き続き母子家庭自立支援員1名を配置している。	子育て支援課
	交流機会の充実	ひとり親家庭の親子や保護者同士が、お互いの経験や悩みを分かち合える場づくりとして、交流機会の充実に努めます。	城陽父子福祉会と民生児童委員協議会が父子家庭の交流と親睦を目的に開催するクリスマス会に対して支援を行った。	子育て支援課
	母子家庭自立支援の充実	母子家庭の保護者の就労促進のため、それぞれの適性や状況に応じた職業訓練や資格取得のための適正な給付金の支給に努めます。	母子家庭の母の就職支援のため、資格取得や教育訓練の受講にかかる費用を助成し、母子家庭の生活の安定化を図った。 高等技能訓練促進給付金 13人、17,495,000円 自立支援教育訓練給付金 3人、47,650円	子育て支援課
(3) 経済的支援制度の充実	子育て家庭への支援	次代の社会を担う子ども一人ひとりの育ちを社会全体で応援するため、子育てにかかる経済的負担の軽減など、子育て家庭への支援に努めます。	児童手当 1,255,833千円、児童扶養手当 334,121千円を支給したほか、子育て支援医療費の支給、私立幼稚園就園奨励費の補助、ファミサポ利用に対する補助等を実施しました。	子育て支援課
	ひとり親家庭への支援	ひとり親家庭は、児童の養育や健康面の不安など生活の中に多くの問題を抱えております。生活の中で直面する諸問題の解決を図るため、ひとり親家庭支援事業の充実に努めます。	母子家庭の母の就職支援のため、資格取得や教育訓練の受講にかかる費用を助成し、母子家庭の生活の安定化を図った。 高等技能訓練促進給付金 13人、17,495,000円 自立支援教育訓練給付金 3人、47,650円 (再掲)	子育て支援課
	障害児のいる家庭への支援	精神、知的または身体に一定の障がいをもつ児童の福祉の増進を図ることを目的に手当を支給します。	特別児童扶養手当 223人 障害児福祉手当 63人、10,316,060円	子育て支援課 福祉課

4 障害児福祉等の充実		事業の内容	24年度の取組状況	担当課
(1) 障害児への支援の充実	障害福祉サービス提供等の推進	障がい児のいる家庭の日常生活の負担を軽減するため、障害福祉サービスについては、安定した質の高いサービスを円滑に利用できるよう、提供事業者との連携強化に努めます。また、レスパイト事業については、充実に努めます。	児童福祉法に規定する障害児通所支援事業を実施し、障がい児童の保護者の利用者負担等の軽減を図った。 児童発達支援 94人、22,618千円 医療型発達支援 3人、2,033千円 放課後デイサービス 50人、29,929千円	福祉課
	ふたば園の充実	発達上の課題を有する乳幼児に対し、情緒の安定と発達の援助を行い、また保護者に対しては、家庭での保育上の助言や指導を行うふたば園の事業内容の充実に努めます。	老朽化のうえ手狭になったふたば園を移転新築した平成23年度に引き続き、駐車場を整備して利用者の利便性の向上を図った。	子育て支援課
(2) 要支援児童保育・特別支援教育の充実	保育所・幼稚園における要支援児童保育等の充実	障がいのない児童と交流を図ることにより、社会性の成長発達を促進する要支援児童保育、特別支援教育を継続実施します。また、母子通園事業を継続実施します。	要支援児童保育指導委員会の認定に基づき64人の保育を実施した。なお、母子通園の利用はなし。	子育て支援課
	学校における特別支援教育の充実	小学校における特別支援教育の充実を図るため、職員体制や設備の改修など受入体制の充実を進めます。また、差別や偏見を持たずに円滑な交流が図れるよう、障害への十分な理解や人権尊重の意識が得られる教育を進めます。	個々の児童生徒の教育的ニーズに応じた適切な教育的支援を行うために全ての小学校に特別支援教育支援員を配置し、充実に努めた。	学校教育課

5 男女共同参画社会		事業の内容	24年度の取組状況	担当課
(1) 男女共同参画社会の実現	家庭での役割分担の見直し	家庭内での固定的な役割分担を見直すよう啓発に努めるとともに、学習機会の充実を図ります。	おとこのわいわい日曜塾との共催による講座年1回開催。父子事業年3回実施。	市民活動支援課
	地域社会における男女共同参画の推進	学校教育や社会教育など様々な機会を通じて男女平等意識の啓発に努めます。	男女共同参画啓発講座54回開催。講座内容は、男女共同参画計画の課題に基づき、さまざまなテーマを設定した。	市民活動支援課
	行政における男女共同参画の推進	各種審議会や委員会などへの女性の参画や登用を積極的に進めます。	19委員会。平成25年1月1日時点で状況調査を行い、公募可能な委員会においてはすべて公募を行った。	行政改革推進課
(2) 仕事と家庭の両立支援	ワーク・ライフ・バランスの普及啓発	ワーク・ライフ・バランスの重要性について普及啓発を図ります。	働く女性の家事業として、ワークライフバランスに関するセミナーを実施した。	商工観光課
	育児休業制度等の普及啓発	育児休業期間が保障されるよう、また出産・育児期を経た就労者が円滑に職場復帰できるよう啓発に努めます。	育児・介護休業法について、パンフレット設置により普及啓発に努めた。	商工観光課

その2 なかよし仲間の輪を広げるために

1 子どもも大人も輝くまちづくり		事業の内容	24年度の実施状況	担当課
(1) 交流豊かな地域づくり	「あそびのひろば」事業の充実	「あそびのひろば」事業を継続して実施するとともに充実に努めます。	在宅の子育て家庭に対して、子育て仲間や子ども同士がふれあえる「あそびのひろば」を市立保育園、私立保育園、市立幼稚園で開設し、園庭やホールを開放するなど遊びの場を提供するとともに、子育て相談に応じている。	私立保育園 市立保育園 市立幼稚園
	世代を超えた交流機会の充実	老人福祉センターとの交流事業の充実に努めます。	保育所（久津川、寺田西）の子どもと老人福祉センター 陽和苑、陽幸苑に通う高齢者が相互に訪問し、季節的行事などを通じて世代間交流を図っている。	子育て支援課
	子育て支援講座の充実	地域子育て支援センターで開催する子育て支援講座などの充実に努めます。	子育て支援講座、劇場公演、あそびのひろばへの参加、公園訪問などのほか、子どもワンダーニュースの発行、子育てサークル支援などを実施した。	子育て支援課
	地域活動の充実	子ども会後援会協議会などの地域活動の支援を充実します。	子ども会育成費補助金 791,000円	文化体育振興課
(2) 地域の子育て支援体制	地域子育て支援センターの充実	地域子育て支援センターの交流事業や子育て支援講座の充実に努めます。	子育て支援講座18回。旧深谷幼稚園跡地において、地域子育て支援センターと多世代交流機能を併せ持った複合施設の建設に向けた検討を行った。	子育て支援課 市民活動支援課
	ファミリー・サポート・センターの充実	ファミリー・サポート・センター事業の積極的な普及啓発に努め、地域での子育て支援体制の基盤強化に努めます。	援助会員122人、依頼会員503人、両方会員44人、計669人。援助活動数1,706件	子育て支援課
(3) 相談窓口・情報提供の充実	子育てに関する情報提供の充実	子育てガイドブック、地域子育て支援センターだより、ファミリーサポートセンター便りなどの充実に努めます。	子育てガイドブックを改訂し、第6版を発行した。	子育て支援課
	青少年の心のケア	青少年の心の悩みに対する適切な指導を行えるよう相談窓口の設置を検討します。	電話やメール、来所による教育相談窓口を設け、相談活動を実施した。	学校教育課

2 子どもの人権		事業の内容	24年度の実施状況	担当課
(1) 児童虐待の防止	虐待防止のための施策の充実	こにちは赤ちゃん事業を実施するとともに、関係機関との連携や情報収集によって虐待の早期発見に努めます。	410人を訪問し、訪問率は90%。子育ての孤立化を防ぐため、さまざまな不安や悩みを聞くとともに、子育て支援に関する必要な情報提供に努めた。	子育て支援課
	虐待児童保護体制の充実	城陽市児童保護対策地域ネットワーク会議の充実に努めます。	ネットワーク会議を3回開催するなど、関係機関との連携強化を進めるとともに、実務者会議を開催し要保護児童の実情把握と支援策について協議した。	子育て支援課
	加害保護者のケア体制の充実	子どもの虐待に至った加害保護者のケア体制の充実に努めます。	未実施。	子育て支援課
(2) 人権尊重の推進	幼いころからの人権学習の推進	人権について正しく理解し、豊かな人権感覚を備えた人間として育成されるよう学校教育とともに家庭や地域社会への啓発を進めます。また、国際理解教育を推進します。	市民人権学習会の開催3回、202人。語学講座を通じて異文化への理解や国際交流の推進を図った。	文化体育振興課

3 こども・わんだー・ねっとの整備		事業の内容	24年度の実施状況	担当課
(1) ネットワーク体制の整備	子育てサークル等への支援充実	子育てサークル活動等への支援、子育てサークル同士の交流促進を図ります。	あそびのひろば訪問時に 12 サークルをポスターにして掲示し、参加者にその活動を紹介したり、子育てサークルへおもちゃを貸し出したりし、市内で活動している子育てサークルの活動への支援を行った。 また、子育てサークル間の親睦をはかり、相互の情報提供や連携を深める事を目的とした子育てサークル合同交流会への後援を行った。(参加人数) 73人	子育て支援課
(2) こども・わんだー・ねっと	こども・わんだー・ねっと	子育てに関する情報収集や相談、学習、交流ができるようホームページの開設を検討します。	未実施。	子育て支援課

その3 たくましい心と体のために

1 母子保健の充実		事業の内容	24年度の実施状況	担当課
(1) 母性の健全育成	妊産婦とパートナーのための健康教室の充実	母親の健康保持と出産についての正しい知識を得るための、妊婦教室の内容充実とともに参加促進に努めます。	年18回(お風呂コース6回、体操コース6回、お食事コース3回、ヨガコース3回) 延べ136人	健康推進課
	妊産婦保健の充実	妊婦の健康診査について受診率の向上を図るとともに、ハイリスク妊婦の把握に努めます。	妊婦健診受診票発行実人員570人、妊婦歯科健診受診率31.6%	健康推進課
(2) 乳幼児の健康の推進	健康診査の充実	乳幼児の健康診査の内容の充実を図ります。新生児や乳幼児健康診査のフォローに対する母子訪問指導(乳幼児訪問指導?)についても充実に努めます。	3か月児健診24回、576人、8か月児健診24回、559人、1歳8か月児健診24回、586人、3歳児健診24回、573人	健康推進課
	乳幼児健康教室・相談の充実	乳幼児健康教室の内容充実に努めます。	乳幼児相談30回、1038人	健康推進課
	食育の推進	幼児期からの食育の推進を図ります。	市立保育園に通う園児の保護者向けに「食育だより」を年4回発行。	子育て支援課
	情報提供の充実	乳幼児の健康保持と疾病予防についての情報提供に努めます。	市内の保育園に通う園児の保護者向けに「健康だより」を年6回発行。	子育て支援課

2 医療の充実		事業の内容	24年度の実施状況	担当課
(1) 医療機関との連携	地域医療の充実	医療機関との連携により、予防接種や健康診査など、新生児、乳幼児や児童の年齢期ごとの保健予防の充実に努めます。	乳幼児健診、予防接種事業を宇治久世医師会に委託して実施。	健康推進課
	病後児保育等体制の充実	病後児保育については、医療機関との連携強化を図ります。病児保育についても検討を行います。	病後児保育 延利用人数5人。病児保育事業の実施の可能性について調査・研究を行った。	子育て支援課
	小児医療体制等の充実	乳幼児の緊急医療体制や休日急病診療所の充実に努めます。周産期医療については、体制確保に努めます。	休日急病診療所 診療日数71日、受診者数1,193人。産婦人科医院の開設を支援するため「城陽市産婦人科医院開設事業費補助金交付要綱」を設けた。	健康推進課
(2) 医療費支援制度の充実	医療費支給制度等の充実	子育て支援医療については、対象年齢を拡大し充実に努めているところですが、制度の充実に向け国や府に要望します。	入院は中学校卒業まで、通院は小学校3年(平成24年度)まで、200円で受診できるように拡大を図ったほか、9月から4年生から6年生までは月当たり3千円を超える自己負担金に助成を行った。	国保医療課
	不妊治療助成の充実	不妊治療助成制度について啓発と充実に努めます。	不妊治療に要する費用の一部を助成し、経済的負担の軽減を図った。188件。	国保医療課

その4 胸はずむ冒険ランドのために

1 次世代を育む環境整備		事業の内容	24年度の実施状況	担当課
(1)学校教育の充実	学校教育環境の充実	学校施設や体育館、プール等の改修や改築とともに、耐震化対策を速やかに進めます。また、コンピュータなどの情報教育の充実のための教育機器の整備に努めます。	富野、久世、今池小学校の校舎耐震補強工事、寺田西、青谷小学校体育館の大規模改造及び耐震補強工事を行った。	教育総務課
	学校教育内容の充実	子ども同士や教師とのふれあいを重視した心の教育を目指すとともに、城陽市の歴史や地域文化に触れる機会の充実、自然に学ぶ教育内容の充実に努めます。	英語指導助手(AET)5人体制で、英語教育の充実と国際交流及び国際理解教育の推進を図った。	学校教育課
(2)家庭・地域の教育力・環境づくり	家庭・学校・地域の連携強化	地域社会が一体となって子どもたちの健やかな成長を見守れるよう、地域ネットワークづくりや地域行事への参加などを積極的に進め、学校とPTA、家庭や地域の連携を強化します。	子どもたちが安全で安心して健やかに育まれる環境づくりのため、地域の方々に理解と協力を得て、古川校区において水曜日の放課後と土曜日の午前中に「放課後子ども教室」を開催した。登録者120人、10回、381人	文化体育振興課
	地域活動の促進と充実 ふるさとの学習機会の充実	学校教育と社会教育や地域活動との連携によって郷土の自然、歴史・文化に親しめる学習機会の充実に努めるとともに、子どもたちが興味に応じた学習や体験が気軽にできるよう、運営体制の充実に努めます。	小中学校の総合的な学習の時間をはじめとする福祉体験、職場体験、農作業等の体験学習の充実を図った。	学校教育課 文化体育振興課
	地域活動の促進と充実 各種教室や学習機会の充実	生涯学習の拠点としての文化パルク城陽の利用促進を図るとともに、図書館の図書資料及び視聴覚資料の充実に努めます。また、コミュニティセンターなどにおいて各種教室や親子ふれあい事業の充実に努めます。	文化パルク城陽では、プレイルームにおいて、大学生による工作教室等、学習機会の充実を図った。 コミュニティセンターにおいては、あそぼう教室等、子ども対象事業を実施した。	生涯学習推進課 図書館
	地域活動の促進と充実 スポーツレクリエーション活動	各種スポーツ・レクリエーション活動の支援に努めるとともに、各種団体の連携と指導者の育成に努めます。	多くの市民が生涯スポーツに親しみ、気軽にスポーツに参加できるよう、ファミリーバドミントン等のニュースポーツをはじめ様々なスポーツ・レクリエーション活動の普及及び指導を行った。	文化体育振興課
	青少年を取り巻く生活環境の浄化	次世代を担う若者たちの健全な成長を促せるよう、生活環境の浄化に取り組めます。	青少年の非行防止と家庭や地域を考える場として「講演と映画のつどい」や青少年主催の「ネットワークづくり懇談会」「立ち入り調査」やパトロールを実施した。	文化体育振興課
	生命の大切さや人権についての学習充実	生命の大切さや尊厳を理解し、互いを尊重し合う人権意識の醸成のため、わくわく体験教室やチャレンジ教室など学習の機会づくりや人権教育の充実に努めます。	青少年地域活動として小学生を対象に「わくわく体験教室」(4教室、計24回、639人) 特別支援学級、特別支援学校に通う児童を対象に「わくわく体験教室 オーロラ教室」(5回、66人)を実施した。チャレンジ教室は未実施。	文化体育振興課
(3)次世代の親の育成	家庭生活に関する知識習得機会の充実	次代の親となる青少年が結婚や出産・育児にいたる家庭生活への正しい理解が得ることができるよう、様々な学習機会の充実に努めます。	小中学校の総合的な学習の時間をはじめとする福祉体験、職場体験等の体験学習の充実を図った。(再掲)	学校教育課
	からだと性を大切にする教育の充実	次代を担う子どもたちが結婚や家庭生活、また子育てに関する正しい意識を醸成できるよう生涯学習活動支援や学校教育の充実に努めます。	小学校の保健や学活、中学校の家庭科や保健体育、学活で計画的に実施した。	学校教育課
	子育て体験の機会づくり	子育てについての喜びや理解を得るため保育園児や幼稚園児との交流学習など、子どもにふれあう機会の充実に努めます。	小中学校の総合的な学習の時間をはじめとする福祉体験、職場体験等の体験学習の充実を図った。(再掲)	学校教育課

2 子どもに優しい環境づくり		事業の内容	24年度の実施状況	担当課
(1) 冒険ランドの遊び場づくり	安全な道路と遊び場の環境づくり	安全で快適な道路や市街地、公共施設の整備に努めます。また、通園・通学路などの危険個所の把握に努め安全対策と必要な改修・改善を進めます。	市PTA連絡協議会からの通学路改善要望に基づき、関係機関と調整のうえ、改善に努めた。	教育総務課 管理課
	身近な遊び場づくり	身近な緑地や水辺空間の保全に努めるとともに、レクリエーションの場として活用できるよう調査を行い、整備方針の立案を目指します。	レクリエーションの場の創設として、京都府が整備中の木津川右岸運動公園（仮称）について、周辺と一体となった多機能な施設、広域的なスポーツ施設の早期整備を要望した。	都市計画課 管理課
(2)ユニバーサルデザインのまちづくり	公共施設におけるユニバーサルデザインの導入	ユニバーサルデザインの理念に基づいた、使いやすい道路や市役所、学校、コミュニティセンターなど公共施設の整備に努めます。	城陽市における高齢者、障がい者等の移動等の円滑化のために必要な市道の構造及び特定公園施設の設置に関する基準を定める条例及び施行規則を策定した。	土木課 都市計画課
(3)うるおいのある安心の生活環境づくり	明るく清潔なまちづくり	公園や道路などの公共施設の日頃からの清掃や緑化を進め、清潔でうるおいのあるまちづくりと子育て環境の整備に努めます。	定期的な清掃や緑化を行い、公園や道路などの良好な環境整備に努めた。	管理課
	自然環境豊かなまちづくり	木津川の桜つつみ、青谷梅林、緑と歴史の散歩道や緑の象徴軸である水度神社参道の充実とともに、市民が日頃から気軽に自然と親しめるよう自然環境の保全に努めます。	必要に応じて損傷箇所などの修繕・修復を実施した。	管理課
	安心・安全なまちづくり	子どもを犯罪から守るため、家庭・学校・地域及び警察などの関係機関との連携による防犯キャンペーンや防犯パトロールの強化に努めます。	家庭、学校、地域及び警察などの関係機関と連携し、防犯パトロールなどを実施した。	学校教育課